

汎用熱流体解析ソフトウェア（STAR-CCM+）ライセンスの取得 仕様書

1. 概要・目的

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所の大規模並列計算機は、原子力機構全体の研究開発を推進するための共用計算機として利用されている。

本システムには、商用の汎用熱流体解析ソフトウェア（STAR-CCM+）が導入されており、主な解析例として、①福島第一原子力発電所における高濃度汚滞留水の浄化処理用セシウム吸着装置塔内での水素拡散挙動の解析、②超高温ガス炉（VHTR）の安全審査に対して、炉心の固有の安全性及び解析手法の妥当性を示すために高温工学試験研究炉（HTTR）で実施された安全性実証試験のデータを用いた炉内温度分布解析等で利用されている。

このため、高性能計算技術利用推進室が進めている計算機ユーザ支援の一環として、ユーザの利便性を高め、研究をより効率的に進める為に本ソフトウェアのライセンスを継続する。

本仕様書は、STAR-CCM+のライセンスの取得について定めたものである。

2. 仕様

(1) 品名及び数量（相当品不可）

種別	製品名	製品構成 (ライセンス内訳)	開発元	利用形態
ソルバ	STAR-CCM+	Simcenter STAR-CCM+ Add 1 (STAR1004) × 1 Simcenter STAR-CCM+ HPC (STAR1017) × 7	独シーメンス社	1セッション、 8並列（1コア +HPC 7コア）

上記製品のソフトウェア使用期間：令和8年3月1日～令和8年11月30日

(2) 動作条件

「4. 納入場所」に設置されている大規模並列計算機（HPE ProLiant DL560, OS:Redhat Linux）で動作すること。

(3) サポートサービス

- ・ 最新バージョンの提供
- ・ 障害に対する対応・改善
- ・ 利用上の技術的サポート及び質問・相談対応

3. 納入期限

令和8年2月27日

4. 納入場所及び納入条件

(1) 納入場所

〒319-1195 茨城県那珂郡東海村白方 2-4

日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

情報交流棟 南ウィング

(2) 納入条件

持込渡し

5. 提出図書

ライセンス数が記載されたライセンスファイル

6. 検収

第5項に示す提出図書の確認をもって検収とする。

7. 検査員

検査員

(1) 一般検査 管財担当課長

(2) 技術検査 高性能計算技術利用推進室 室員

8. 疑義

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、原子力機構と協議の上、その決定に従うものとする。

以上